

「Critical Thinkingとは(概要)」

マルシェ株式会社相談役 教育アドバイザー

(株)共有価値創造研究所 代表取締役

追手門学院大学 客員教授

北海道北竜ふるさと大使・北竜町ひまわりの里策定委員

博士(経済学) 谷垣雅之

Critical Thinking

さよなら「正解主義」

* 2021年度より大学入学共通テストより一部導入される



「これからは「答えのない時代」です。AIなどにも代替されない、オリジナルな答えを出せる人こそが「優秀な人」と言われる時代がもうそこまで来ています。」

AIは希望か？

AI = **artificial intelligence** (例: Deep learning)

アルゴリズム: 問題を解決する手順や手法のこと

経済、経営、医療、教育、政治、軍事、芸術……

あらゆる面で人間を超えていく**AI**

AIと雇用について

2014年オックスフォード大学論文「雇用の未来」:

今後10年～20年で700の仕事が消滅する

90%以上の確率で消える職種例:

銀行の融資担当者

カジノディーラー

苦情の処理

スポーツの審判

ネイリスト

調査担当者

不動産業者

クレジットカードの審査

簿記・会計・監査の事務員

レストランの案内係

弁護士助手

建設機器のオペレーター

保険の審査担当者

ホテルの受付係

訪問販売員

電話オペレーター

電話販売員

塗装工

給与・福利厚生担当者

税務申告代行者

クロス張り職人

レジ係

データ入力作業員

井上智洋「人口知能と経済の未来」

2025年 自動通訳、自動翻訳、2030年 汎用人口知能・・・

機械に奪われにくい仕事 C・M・H

Creativity・Management・Hospitality

- ①クリエイティビティ系： 芸術、創作、発明、研究
- ②マネジメント系： 経営、プロジェクトなどの管理
- ③ホスピタリティ系： 介護士、看護師、保育士

2045年には全人口の1割のみ労働することになる(純粹機械化経済)

➡ ベーシックインカムへ

Critical Thinking（批判的思考）

- オックスフォード英語辞典には、
- 「判断を下すための、問題の客観的な分析と評価」と定義づけられている。



- 「物事を多角的、客観的にとらえ、自分の考えに固執せず、客観的かつ論理的に考えること。」

“本当はどうなのか”

ものごとを多面的にかつ客観的に考え続けること。

- 思考停止しない。
- 偏見をもたない。
- 自分を空っぽにして、他者の意見を受け止める。

群盲象を評す



ものごとにはたくさんの面がある。
1つの面だけで全体を判断しない。
すぐ鵜呑みにしない。

“ちょっと待てよ。それホントかなあ”

BS番組 アナザーストーリーズ

ダイアナ妃の事故死、ベルリンの壁崩壊、ビートルズ来日...あの日、あの時、そこに関わった人々は何を考えたのか？ それぞれの人生はその瞬間、大きく転回し、様々なドラマを紡ぎ出していきます。事件の“アナザーストーリー”に迫る、**マルチアングルドキュメンタリー**。



経営（マネジメント）の語源とは？

経：たていとの意味、いつも変わらぬ道理
＝ 変わらぬ道理・真理

営：かこむ、建物を営なみつくる、続けるの意味
＝ あきることなく求める

経営とは、真理の探究である

≡ Critical Thinking

Critical Thinking (例)

コロナウイルス (Covid-19) のもたらしたものの
2021年1月20日現在の感染者数 (死者数)

国内: 34万6299人 (4779人)

世界: 9616万5266人 (205万7173人)

多くの人々は……

マスク着用、消毒、PCR検査、ワクチン接種、
都市封鎖・移動規制や外出自粛、経済停滞……



Giorgio Agamben: The invention of an Epidemic (26/02/2020)

A Question (18/04/2020)

「感染者のたった4%が重篤化するという医学的事実にも関わらず、なぜメディアや政府は、緊急事態宣言を実施し、厳しい移動制限や地域の日常生活を停止させるのか」

①**死者の権利**: どんな人もたった1人で、また葬儀なしで死ぬべきではないのではないか

②**移動の自由**: 第2次世界大戦中でも起こらなかった、“移動の自由”の制限を、他者に感染させるリスクがあるという理由で私たちは受け入れた。しかし、本来“肉体的生存”と“文化的生活”は切り離せないものである。ある意味で“植物人間化”を受け入れた我々は、出口のない自己矛盾に陥っている。



Yuval Noah Harari: the world after coronavirus

(20/03/2020)

我々は**2つの重要な選択**を迫られている

- 1) **全体主義的な国民監視か、市民への権限付与か**
ICT技術による政府の国民監視(中国)
自主的検査及び感染情報公開による防止(台湾・韓国など)
- 2) **国家主義者たちの孤立か、国際的団結か**
コロナ感染源に関する米中対立、米国のWHO批判など